

千葉市こてはし温水プール指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～令和2年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市こてはし温水プール
条例上の設置目的	体育・スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	本施設における、スポーツ・レクリエーション、コミュニティ活動を通じて、健康増進及び地域コミュニティの形成を図ること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	快適なスポーツ・レクリエーション及び文化活動の場を提供すること。 各種スポーツの普及、健康増進、コミュニティ形成に関する契機となる事業を企画・実施すること。
制度導入により見込まれる効果	多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しつつ、本施設の提供する「市民サービスの充実」による利用者満足度の向上、利用促進、広報プロモーション活動による利用者の増加、「管理経費の縮減」による財政負担の軽減等
指定管理者名	元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ
構成団体 (共同事業体の場合)	(代表団体) 株式会社コナミスポーツクラブ ※H31.3.31から「コナミスポーツ株式会社」に名称変更 (構成団体) 日本メックス株式会社
指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日(5年)
所管課	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

2 成果指標等の推移

(1) 年間施設利用者数(成果指標1)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
実績値	335,162人	321,572人	314,105人	292,933人	1,263,772人
数値目標※	350,000人 (320,000人)	350,000人 (320,000人)	350,000人 (320,000人)	350,000人 (320,000人)	1,400,000人 (1,280,000人)
達成率	95.8% (104.7%)	91.9% (100.5%)	89.7% (98.2%)	83.7% (91.5%)	90.3% (98.7%)

(2) 各種教室・講座の開催(成果指標2)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
実績値	21教室	18教室	21教室	22教室	82教室
数値目標※	19教室 (8教室)	19教室 (8教室)	19教室 (8教室)	19教室 (8教室)	76教室 (32教室)
達成率	110.5% (262.5%)	94.7% (225.0%)	110.5% (262.5%)	115.8% (275.0%)	107.9% (256.3%)

(2) 成果指標以外の利用状況を示す指標

なし

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
必須業務	収入	指定管理料	実績	149,540	149,540	149,540	153,185	601,805
			計画	149,540	149,540	149,540	150,925	599,545
		利用料金	実績	70,051	65,566	62,564	59,004	257,185
			計画	69,659	71,630	78,151	78,925	298,365
		その他	実績	0	80	0	0	80
			計画	0	0	0	0	0
		合 計	実績	219,591	215,186	212,104	212,189	859,070
			計画	219,199	221,170	227,691	229,850	897,910
		支 出	実績	233,057	214,393	213,300	232,558	893,308
			計画	219,199	221,170	227,691	229,850	897,910
	収 支	実績	△ 13,466	793	△ 1,196	△ 20,369	△ 34,238	
自主事業	収 入	実績	18,091	22,076	23,915	21,854	85,936	
		計画	12,766	13,514	14,303	14,303	54,886	
	支 出	実績	16,441	18,300	22,650	19,967	77,358	
		計画	12,473	13,025	13,553	13,184	52,235	
	収 支	実績	1,650	3,776	1,265	1,887	8,578	
	総収入	実績	237,682	237,262	236,019	234,043	945,006	
総支出	実績	249,498	232,693	235,950	252,525	970,666		
総収支	実績	△ 11,816	4,569	69	△ 18,482	△ 25,660		
利益の還元額	実績	117	0	0	0	117		
利益還元の内容		提案書類に記載した 利用料金収入想定額 を超えた部分に１０ 分の３０を乗じて 得た額を市に還元す る。						

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評 価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	利用者数については目標を下回っているものの、教室開催数は目標値を達成しているため。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	削減率が5%に満たないため。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	概ね、管理運営の基準に定める水準を満たしていると認められるため。
4 施設管理能力		
（１）人的組織体制の充実	C	一部必要人員の不足が見られた時期があったが、概ね、管理運営の基準に定める水準を満たしていると認められるため。
（２）施設の維持管理業務	C	概ね、管理運営の基準に定める水準を満たしていると認められるため。
5 施設の効用の発揮		
（１）幅広い施設利用の確保	B	地域広報誌の掲載や夏休みや冬休み等にあわせた定期券の発行など幅広い施設利用の確保に向けた積極的な取り組みが行われているなど、優れた管理が行われているものと認められるため。
（２）利用者サービスの充実	B	無料巡回バス及びスマートフォンアプリによる健康管理支援等提案を上回る事業を実施するなど、優れた管理が行われているものと認められるため。
（３）施設における事業の実施	B	市の設定する目標を大きく上回る教室数を実施するなど、優れた管理が行われているものと認められるため。
6 その他 （市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮）	C	概ね、管理運営の基準に定める水準を満たしていると認められるため。

総合 評価	C
----------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

利用者数は指定管理期間を通じて目標には満たなかったものの、施設での教室開催数の増加やスマートフォンアプリを活かしたサービスの提供、無料の運行バスの運行など、民間のノウハウを活用した運営がなされていることから、指定管理導入による効果は概ね達成できた。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

利用者数が減少しており、施設の収益性が低下しつつあることから、今後、利用料金収入の減少に伴う指定管理委託料の増加や、指定管理者が収益を確保するために過剰な経費削減を行うことで提供されるサービスが低下する等のリスクが懸念される。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

市の作成した総合評価案の内容は、妥当であると判断される。
利用者数は減少傾向にあるものの、施設の老朽化や近隣施設のリニューアル等外的要因によるものと考えられ、各種教室や講座の開催数は目標値を達成しており、見込んでいた効果が概ね達成できたことから、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。
講座や教室の開催数だけではなく、魅力ある内容による利用者数の増加を図られたい。